

令和3年(2021年)7月16日
県立美術館 学芸課
担当者 野中
内線 3717 直通 0952-24-3947
E-mail: hakubi@pref.saga.lg.jp

特別展「白馬、翔びたつ—黒田清輝と岡田三郎助—」を 開催します

佐賀県立美術館では、令和3年9月7日(火曜日)から、特別展「白馬、翔びたつ—黒田清輝と岡田三郎助—」を下記のとおり開催します。

佐賀生まれの洋画家岡田三郎助は、明治27年(1894年)、鹿児島出身の洋画家黒田清輝と知り合い、彼の明るさに満ちた新鮮な画風—フランスの「外光表現」—にひかれ洋画の教を乞います。その後明治29年(1896年)、二人は洋画グループ「白馬会」を結成、若き画家たちとともに日本の洋画界の新時代を切り拓いていきます。

本特別展は、日本近代洋画の草創と発展の中心人物で「日本近代洋画の父」と称えられた黒田清輝と、繊細、優美な女性像を描き、日本の洋画の品格を支えた岡田三郎助について、彼らの傑作、代表作を展示し、それぞれが求めた美について御紹介します。黒田と岡田の画業を合わせて紹介する初めての展覧会です。さらに、彼らと親しく交流し同時代を生きた洋画家たちも併せて紹介し、日本近代洋画の輝ける時代を浮き彫りにします。

本特別展は「令和3年度(2021年度)国立博物館収蔵品貸与促進事業」を活用するもので、黒田清輝の最高傑作《舞妓》(重要文化財/東京国立博物館蔵)をはじめ、黒田の名品の数々を借用し公開するものです。

今回の特別展で、日本の近代洋画を牽引した黒田清輝と岡田三郎助の美の世界を、ぜひ御堪能ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、お客様に入館時のマスク着用、アルコール消毒等の御協力をお願いしています。

記

- 1 展覧会名称 特別展「白馬、翔びたつ—黒田清輝と岡田三郎助—」
- 2 会 期 令和3年（2021年）9月7日（火曜日）
～10月17日（日曜日）
休館日：毎週月曜日（休日の場合翌日） [36日間]
- 3 開館時間 9時30分～18時
- 4 会 場 佐賀県立美術館2・3・4号展示室
- 5 主 催 佐賀県立美術館
- 6 特別協力 独立行政法人国立博物館機構文化財活用センター
東京国立博物館
- 7 助 成 一般財団法人地域創造
芸術文化振興基金
- 8 後 援 鹿児島県、朝日新聞社、共同通信社佐賀支局、佐賀新聞社、
(株)時事通信社佐賀支局、西日本新聞社、毎日新聞佐賀支局、
読売新聞西部本社、サガテレビ、NHK佐賀放送局、
NBCラジオ佐賀、エフエム佐賀、FBS福岡放送、
KBC九州朝日放送、RKB毎日放送、TNCテレビ西日本、
テレQ、南日本新聞社

9 展覧会アンバサダー 中越典子さん

(女優、ナレーター)

※ 音声ガイドのナビゲーターもお務めいただきます。



10 観覧料 一般1,000円、割引料金800円

※ 高校生以下、障害者手帳又は指定難病医療受給者証の所持者とその介助者1名は無料。

※ 割引料金は20名以上の団体、博・美メール会員、学生証(大学・専門学校等)提示の学生、本特別展又は久留米市美術館5周年記念展「九州洋画Ⅱ：大地の力—Black Spiritus—」の使用済み半券提示の方、17時以降入場の方、JTBベネフィット「えらべる倶楽部」会員に適用。

11 関連イベント等

(1) 記念講演会「白馬会—美術で社会を変える試み」

日時：9月18日(土曜日) 13時30分～15時

会場：佐賀県立美術館ホール

講師：山梨絵美子氏(千葉県立美術館長)

聴講料：無料

その他：事前申込不要(定員200名)

(2) シンポジウム「黒田清輝と岡田三郎助、ふたりが日本美術界に残したもの」

日時：10月2日(土曜日) 13時30分～16時

会場：佐賀県立美術館ホール

パネリスト：植野健造氏(福岡大学人文学部教授)

三谷理華氏(女子美術大学芸術学部特任教授)

稲葉麻里子氏(鹿児島市立美術館学芸員)

野中耕介(佐賀県立美術館学芸員)

コーディネーター：松本誠一(佐賀県立美術館長)

聴講料：無料

その他：事前申込不要（定員200名）

(3) 博物館・美術館セミナー

ア 「1900年 白馬、パリに降り立つーパリ万博と白馬会ー」

講 師：松本誠一（佐賀県立美術館長）

日 時：9月12日（日曜日）

イ 「“油絵”の魅力と科学」

講 師：野中耕介（佐賀県立美術館学芸員）

日 時：9月19日（日曜日）

ウ 「黒田清輝と洋画家たちの青春ー『黒田清輝日記』を読むー」

講 師：秋山沙也子（佐賀県立美術館学芸員）

日 時：10月9日（土曜日）

※ 各セミナーとも

時 間：13時30分～15時

会 場：佐賀県立美術館2階画廊

聴講料：無料

その他：事前申込不要（各定員30名）

(4) 学芸員によるギャラリートーク

日 時：会期中の毎週土曜日、10時30分から30分程度

会 場：佐賀県立美術館2・3・4号展示室

特別展「白馬、翔びたつ—黒田清輝と岡田三郎助—」



黒田清輝

(1866-1924)

鹿児島に生まれる。フランスで洋画を学び、東京美術学校（現東京藝術大学）西洋画科の教員となる。

岡田三郎助らと洋画団体「白馬会」を結成、日本の洋画界に新風を起す。以降、美術の発展に力を尽くし、「日本近代洋画の父」と称された。

黒田清輝と岡田三郎助、
二人の大家を特集した初の展覧会。



黒田清輝《舞妓》
(重要文化財 東京国立博物館蔵)



岡田三郎助《あやめの衣》
(ポーラ美術館蔵)



岡田三郎助

(1869-1939)

佐賀に生まれる。上京し洋画家を目指すが、黒田清輝を知り洋画の教えを乞う。初の文部省画学研究生としてフランスに留学。帰国後、優美な女性像を描き洋画壇の大家として活躍、後進の教育にも力を注いだ。1936年に第一回の文化勲章を受けた。

黒田と岡田の最高傑作が、佐賀に集結。



黒田清輝《祈祷》
(東京国立博物館蔵)



黒田清輝《編物する女》
(東京国立博物館蔵)



岡田三郎助《来信》



岡田三郎助《萩》
(兵庫県立美術館蔵)



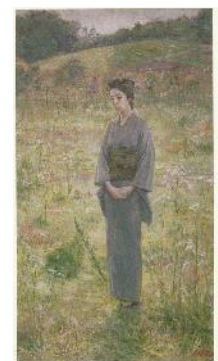
黒田清輝《ダリア》
(東京国立博物館蔵)



黒田清輝《赤き衣を着たる女》
(鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵)



岡田三郎助《裸婦》
(佐賀県立美術館蔵)



岡田三郎助《雑草》
(東京国立博物館蔵)